

17. G-7ホールディングス

～SDGsを体現する新社屋と、障害者雇用の創出と野菜の生産「こども食堂」への野菜無償提供～



「野菜生産」を通して障害者雇用とこども食堂の支援



G-7グループの一つである株式会社G-7スーパーマーケットでは業務スーパーを運営しており、多様性のある職場環境を目指し、障害者支援サービス会社を通じて障害者を雇用し、農園での野菜の栽培をしております。生産した野菜は、身近な地域で子供たちの育ちを支援する目的として、自治会や福祉センターなどといった施設にある「こども食堂」へ無償提供をしています。またSDGsへ配慮をした新社屋をはじめ、どのような思いで取組みを行っているか学んで頂きます。

地球環境問題への配慮や再生可能エネルギーやクリーンエネルギーの推進を体現した新社屋の見学や、障害者雇用による農園での野菜栽培の取組みを始めたきっかけや企業としての想いを講義頂きます。また実際に野菜の播種（種まき）体験を行います。

プログラムスケジュール例

- 10:00～ 企業担当者挨拶
- 10:05～ 本社新社屋見学
- 10:25～ 自社SDGs取組みの講義
- 10:55～ 野菜播種（種まき）体験
- 11:15～ 「こども食堂」関係者へ
学生より野菜の贈呈
- 11:20～ グループワークショップ
- 11:50～ まとめ 閉会

実施場所：株式会社G-7ホールディングス本社屋
実施時間：平日 10:00～12:00
所要時間：約2時間
実施可能人員：10名～15名程度
(日程により調整が必要です)
実施費用：無料

①地球環境問題への配慮と再生エネルギーの活用 本社見学

社用車の電動車・店舗証明LED採用

G-7グループでは社用車を電動車（電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車）の採用、店舗照明のLED化を実現しています。

本社屋で再生エネルギーを推進

2021年に新社屋に太陽光パネルを設置し、太陽光エネルギーの有効活用に取り組んでいます。



②「こども食堂」へ無償提供する野菜の播種（種まき）体験

多様性のある職場環境と子供への支援

障害者雇用を通じ行われる農園での野菜栽培。播種（種まき）、野菜の移植、収穫、出荷作業をし「こども食堂」に届けられています。今回は野菜の播種（種まき）を体験して頂きます。皆さんが植えた種が野菜となりこども食堂に届けられます。



播種（種まき）

③ワークショップ

企業として障害者雇用を推進する理由はなにか、野菜生産が誰の為になっているのか働きがいと経済成長にどう繋がるのか。企業としてSDGsにどう向き合う必要があるのか是非一緒に考え、発表して頂きます。

17. G-7ホールディングス



学習のポイント

- ① 企業としてSDGsに取り組む責任とは何かを学ぶ
- ② 障害者雇用の必要性を理解する
- ③ 働きがいと経済成長に繋がる仕組みを学ぶ



学習の流れ（モデル）

